輝く先輩 ⑲

人の役にたつ仕事をしたい〜命の架け橋として〜

日本赤十字社 埼玉県赤十字血液センター 長倉（ながくら） 知史（さとし）さん 2011年度法学部卒業

現在の仕事

私は日本赤十字社・埼玉県赤十字血液センターで献血に関わる仕事をしています。日本赤十字社、よく「日赤(にっせき)」と呼ばれていますが、皆さんは日赤と聞くとどの様な活動イメージを持ってますでしょうか？病院、献血、災害救護のイメージがよく挙がりますが、それ以外にも、国際活動、看護師等の教育、救急法等の講習、青少年赤十字、社会福祉、赤十字ボランティアなど国内外で様々な活動に取り組んでいます。

そんな事業の１つである血液事業で私は仕事をしています。所属は埼玉県赤十字血液センターの推進課です。街中や駅前で広報をしたり、献血ルームで献血者を対応させていただいたりしている職員とは違い、普段は献血者とは関わらない課なのでイメージがしづらいと思います。

推進課は主に、採血計画の立案と献血者確保のため企業や団体に献血協力依頼をしています。私は現在、採血計画の立案、献血協力団体への推進活動に携わっています。埼玉県内の血液の使用予測、過去の献血協力実績に基づいて、安定的な血液供給ができるよう計画を立てます。翌月の献血会場を確定する時期になると、推進課だけでなく、他の部署も参加する会議の資料の準備に追われますし、推進活動では、献血を受け入れていただいている企業、団体に訪問し、埼玉県の血液事業について説明し更なる献血協力を依頼します。また、血液が大変不足しているときには献血会場に出向いて献血への協力の呼びかけを行うこともあります。

仕事の魅力や困難なこと

私にとってのやりがいは「命の架け橋になっている」ということです。私の仕事は直接苦しんでいる方を救うことはできません。しかし、献血に協力していただける献血者と輸血を待っている患者様の架け橋になれることが仕事のやりがいです。また、日本赤十字社は先述のとおり、多種多様な職種があるので、自分の能力が発揮できる場が多くあることも魅力です。

駿河台大学在学中のこと

私が駿河台大学を志望したのは、公務員になりたいと思ったからです。正直、強い理由があり公務員になりたいと思ったわけではありませんでした。安定しているし、地元で働けるからというような、浅はかな感覚でした。

駿河台大学は私が入学を考えた当時から公務員試験合格者が多く、勉強する環境に適していると思いました。こんな浅はかな感覚を変えてくれたのが3年次のゼミでした。先生からは勉強よりも、組織への考え方、捉え方、人との関わりの大切さを教えていただきました。また、同じ目標を持った友人にも恵まれました。共に切磋琢磨して公務員試験に臨みました。

しかし、結果は全ての公務員試験で不合格でした。この時ほど挫折したときはありませんでしたし、努力を否定したことはありませんでした。ただ、この経験が無ければ今の自分もいないと言えます。

これからのこと、後輩へのメッセージ

私が後輩の皆さんにお伝えしたいことは、自分のやりたいことを真剣に考えて欲しいということです。

私は現在の職に至るまで転職を経験しました。希望していた公務員になることができず、約1年間民間企業に勤務していました。民間企業時代は日々の仕事の中で、自分が本当にやりたいことは？自分の夢は？と自問自答をする毎日でした。そんな日常を打開したく転職を考え、将来のこと、今後のことを調べつくし「人の役にたつ仕事をしたい」と思い、本気で向き合ったのが今の職場でした。今私は忙しいながらも充実した毎日を送っています。

学生の皆さんは私以上に素晴らしい経験をすることができるチャンスがあります。大なり小なり悩みやハードルはあると思いますが、自分のやりたいことを真剣に考え、有意義な学生生活をお過ごしください。

最後に宣伝となってしまいますが、母校である駿河台大学には、年間3回(4月、7月、10月)献血会場としてご協力いただき、お邪魔をしています。この駿河台大学NEWSが発行される7月にも献血が行われますので、ぜひご協力をお願いします。

学生時代の長倉さん

Profile

埼玉県出身。埼玉県立熊谷商業高校出身。
2008年　法学部に入学。
2013年　埼玉県赤十字血液センター
　　　　献血推進一部 献血課 に配属
2017年より現職